

厚岸地区エゾシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業（管理型捕獲）  
（除雪事業実施要領）

（目的）

この要領は、根釧西部森林管理署の発注機関の長（以下「発注者」という）が発注する林道除雪事業（以下「除雪事業」という）に必要な事項について定め、請負者が適正かつ安全に事業を履行するとともに、第三者への事故を防止することを目的とする。

（除雪作業）

第1条 除雪については、常に安全に作業が行える状態を保つよう、日常管理を適切に行うとともに、第三者や作業従事者の安全確保及び事故防止に努めること。

第2条 除雪作業は、運転者及び助手（または作業員）の2名で行うこと。除雪機械等が一人乗りの場合は、助手はライトバン等により先導し、除雪作業中の安全管理を行うこと。

第3条 運転者は、法令で定められた免許所有者、または車両系建設機械運転技能講習修了証が必要な場合は、修了者に限ること。

第4条 作業は、視界が確保できる状況で行うように努めること。また、霧や地吹雪等で周囲の視界確保が困難な場合は、作業を一時中断するなど、安全な状況での作業に努めること。

第5条 作業中は、第三者に対してはできるかぎり迷惑を及ぼさないよう注意すること。

第6条 除雪機械の無理な使用は避けること。

第7条 作業中に事故等が発生した場合には、直ちに応急処置を行うとともに、関係機関等へ速やかに連絡をすること。

第8条 現場の状況により、特別な安全措置が必要な場合は、監督職員と協議のうえ、必要な措置をとること。

第9条 除雪作業は、発注者からの出動命令のほか、通行に支障を及ぼすおそれのある場合に機械を出動させ、幅員を確保することを目標として作業をすること。また、事前に除雪路線の状況、障害物、気象条件等を十分に把握し、効率的かつ効果的な除雪を行うこと。

第10条 除雪作業中は、「除雪中」の看板を取り付けること。

第11条 助手は、主として除雪作業中の安全管理にあたるものとし、その他除雪機械の整備点検・給油脂・清掃作業等を運転者と協力して行うものとする。

第12条 除雪機械の周囲の安全が十分確認できないときは、助手は降車して周囲の安全を確保すること。

第13条 除雪機械を作業現場に運搬する場合は、路面を損傷しないようにすること。

第14条 除雪作業の実施にあたっては、道路施設及び道路付属物（標識、ガードレール、カーブミラー等）を破損しないように努めること。

（作業報告及び業務完了届）

第15条 受注者は、除雪事業を実施した場合には、進捗状況及び機種別の機械稼働時間数を監督職員に報告すること。（報告内容、報告頻度は、監督職員と協議すること。）別に定める作業日報及び写真を整理し、発注者に提出すること。

厚岸地区エゾシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業事業（管理型捕獲）  
（除雪事業仕様書）

この仕様書は、根釧西部森林管理署の発注機関の長（以下「発注者」という。）が発注する林道除雪事業について、請負者が適正に履行するため、事業に関する仕様を示すものである。

## 第1章 除雪

### （適用範囲）

第1条 本仕様書は、除雪事業について適用するものとする。

- 2 本仕様書に定めのない事項については、林道工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）によるものとする。
- 3 請負者は、原則として契約書に従うものとし、疑義がある場合は監督職員に確認をもとめなければならない。

### （一般事項）

第2条 請負者は、異常降雪時を除き次に定める除雪水準による幅員を確保することを目標として作業しなければならない。なお、異常降雪時における目標は、監督職員の指示によるものとする。

- 2 請負者は、除雪事業の遂行にあたっては、安全かつ円滑な交通を確保するため道路を良好な状態に保つよう維持しなければならない。
- 3 請負者は、事業区間内での事故防止のため、やむを得ず臨機の処置を行なう必要がある場合は、応急処置を行い、速やかに監督職員にその処置を報告し、指示を受けなければならない。
- 4 請負者は、除雪事業において、業務区間の通行規制を行う必要がある場合は、通行規制を行う前に監督職員と協議しなければならない。
- 5 請負者は、作業内容、気象及び道路状況について、求められた場合には監督職員に報告しなければならない。
- 6 請負者は、事業区間の道路付属物や占用物件等について、事前に作業上支障となる箇所の把握を行い、事故の防止につとめなければならない。
- 7 請負者は、除雪機械が故障、事故等により除雪作業が出来ない場合は、速やかに監督職員に連絡し指示を受けなければならない。
- 8 請負者は、除雪事業の遂行においては、第三者の安全に十分注意しなければならない。
- 9 事業遂行時における緊急事態に備え、連絡体制を定め監督職員に提出しなければならない。
- 10 本仕様書及び除雪事業実施要領に基づく適正な業務が遂行されない等、発注者が請負者に対して指導すべき事項があった場合は、文書（打合せ記録簿、監督日誌等）にて指導を行うものとする。1回目の指導事項が速やかにまたは次の除雪作業までに改善されない場合は、文書（打合せ記録簿、監督日誌等）にて再度指導を行うものとする。2回目の指導事項が速やかにまたは次の除雪作業までに改善されない場合は、「改善指示書」により指示するもの

とする。また、事前に文書（打合せ記録簿、監督日誌等）による指導を行っていない場合であっても、請負者の過失による事故等重大な事項については、「改善指示書」により指示するものとする。

（作業基準等）

第3条 事業は「契約書」に基づき行うものとする。

## 第2章 林道除雪

（摘要）

第4条 降雪により交通障害を発生させないよう速やかに行うものとする。

（使用機械）

第5条 持込機械に係る管理及び修繕等については、請負者の責任によるものとする。また、持込機械を変更しようとする場合は、監督職員に協議するものとする。

（作業日報）

第6条 請負者は、作業日報等を監督職員の指示により提出しなければならない。

（出来形確認）

第7条 出来形の確認は、「検査基準」（別紙）のとおりとする。

（苦情等の処理）

第8条 業務中に沿道住民等から苦情または意見等のあった時は丁寧に応対し、直ちに監督職員に報告するとともに適切な処置をとらなければならない。

## 第3章 誘引捕獲の除雪

（エゾシカの誘引捕獲(モバイルカリング)の除雪)

第9条 請負者は、除雪を行うに当たっては、誘引及び捕獲箇所等に影響を与えないようにしなければならない。

2 請負者は、捕獲箇所近辺（射程圏内）での除雪による雪等は発砲の妨げにならないように処置しなければならない。

3 請負者は、除雪業務において、業務区間の車廻し箇所に当たっては、事前に監督職員の指示を受けなければならない。

（エゾシカの誘引捕獲(囲いわな)の除雪)

第10条 請負者は、除雪を行うに当たっては、囲いわなの設置、誘引、捕獲及び運搬等に影響を与えないようにしなければならない。

2 請負者は、囲い部の吹きだまり等を除去して、捕獲された個体が外部に飛び越えないように処置しなければならない。

3 請負者は、除雪業務において、車廻し箇所に当たっては、事前に監督職員の指示を受けなければならない。

## 第4章 その他

(臨機対応)

第11条 豪雪時等の緊急時には、発注者と請負者とが協議のうえ、契約工区外の除雪等の事業を実施することができるものとする。

厚岸地区エジシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業（管理型捕獲）  
 （除雪事業検査基準）

項 目	検 査 内 容	検 査 方 法
・ 記録写真等	・ 着手前及び終了写真 ・ 進捗状況写真 ・ 安全管理写真 ・ 検査写真 ・ その他	・ 現況を総括的に把握し重要箇所の撮影は的確か検査する。
・ 除雪幅	・ 余裕のある除雪幅が確保されているか	・ 場合により測定する。
・ 線形	・ 中心線より逸脱していないか	・ 目視又は、写真により確認
・ 障害物等	・ 倒木及び、落石等は通行に支障が無いよう除去してあるか	・ 目視又は、写真により確認
・ 路面均し等	・ 路面及び、構造物、標識等に損傷を与えていないか	・ 目視又は、写真により確認
・ 出来高(延長)	・ 延長は、確保されているか	・ 場合により延長を測定する。
・ その他	・ 監督職員が指示した事項	・ 監督職員が指示した事項について、適切に行われているか検査する。

# 特記仕様書

## 1 事業名

厚岸地区エゾシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業（管理型捕獲）

## 2 目的

根釧西部森林管理署管内の厚岸地区国有林では、樹木の食害などエゾシカによる森林被害が発生している。

厚岸地区においては、樹木の被害に加え農業被害が顕著であるなどエゾシカ被害は深刻であることから、当該地域については、銃猟による捕獲が適切ではない箇所において、罠いわなによりエゾシカ捕獲業務を実施する。

なお、捕獲個体の処理については、食肉利用を前提にするものとし、ジビエ利用の可能性拡大に努めるものである。

## 3 事業内容

### （1）計画準備

#### ① 事業計画書の提出

事業を完成させるために必要な手順等の以下の項目について事業計画書を事業着手前に監督職員に提出すること。

（ア）計画工程表

（イ）現場組織表（わな猟免許所有者、受け入れ先、下請け者等を含む）

（ウ）安全管理

（エ）その他

#### ② 許可の申請等

事業の実施に当たっては、監督職員との協議のもとに根釧西部森林管理署が以下の手続きを行うので協力すること。

（ア）地元自治体、関係機関等との連絡調整

（イ）鳥獣の捕獲等の許可の申請

### （2）罠いわなの構造

① 罠いわなの形状等については、原則として、「罠いわな模式図」に示す構造とする。

② 罠いわなに使用する部材等については、事業明細書に記載されているものを標準とし、監督職員との協議の上、同等品に変更ができる。

③ 罠いわな模式図で示した罠いわなの形状は標準例であり、現地の地形やエゾシカの移動経路の状況等により形状を変更することが適当と判断する場合は、監督職員との協議の上変更することができる。

④ 自社で所有している資材が調達資材と同等又はそれ以上の機能・性能を有していると監督職員が認めた場合は、その資材を代用することができる。

⑤ 落とし扉には、ICT 自動捕獲装置を設置し、通信契約は受託者が行うものとする。

### (3) 捕獲

- ① 給餌及び捕獲は、次表を標準として、エゾシカの生息状況等を踏まえ、監督職員との協議により実施すること。なお、予定回数を上回って実施することは妨げない。

(回)

	11月		12月			1月			2月			3月	計
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	
給 餌	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	20
捕 獲	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
除 雪	0		1			1			1			0	3

- ② 捕獲は、車両進入時のエゾシカの警戒心を無くす為、遠隔操作捕獲装置により行う。  
なお、既存の情報から得たエゾシカが多数出没する時間帯での監視の下、2時間の範囲内で最大頭数を捕獲するものとする。

### (4) 給餌

給餌は、捕獲前から行うこととし、十分にエゾシカを餌に慣れさせるものとする。

給餌は、エゾシカの誘引具合等から、数量及び頻度を調整して実施するものとする。

餌の種類は、ペレット飼料を主とするが、他の餌も試し誘引状況により適宜変更を行うものとする。

使用する餌については、事業明細書を標準とするが、エゾシカの誘引具合等から監督職員との協議の上、適宜変更できるものとする。

### (5) 除雪

囲いわな周辺、囲いわなまでの通勤路及び囲いわな内部の除雪は受託者が実施する。

作業に当たっては、除雪事業仕様書、除雪実施要領に基づき実施することとする。

### (6) 搬出・個体処理

捕獲個体の搬出は、個体に傷がつかないように配慮することとし、食肉加工施設に引き渡すなど、食肉利用の拡大に努めることとする。ただし、引き渡しに際し一切の代金を受領してはならない。

有効利用出来ない個体の処理については、市町村の指示に従った適切な方法により処分を行うこととする。

### (7) 生息等調査

エゾシカの捕獲に当たり、越冬地等のエゾシカが寄り集まる生息地に大型囲いわな設置して捕獲事業を実施しているが、越冬期間外のエゾシカの生息状況等について情報が少ないことから、今後の効率的な捕獲履行期間等の検討資料とするため、自動撮影カメラによる生息状況の確認を行うものである。

#### ① 場所の選定

ア 鳥獣が通りやすいと考えられる獣道及び餌場などの痕跡が見られる箇所、わな付近等を選定すること。

イ 特に直射日光や木漏れ日等が当たらないように注意しなければならない。

## ② 装置の設置

ア 自動撮影カメラの設置は、受託者の責任において実施しなければならない。

イ 撮影場所が適切に写るよう方向、角度に注意して設置しなければならない。

ウ 自動撮影カメラが動かないように、杭や木の幹等にしっかり固定しなければならない。

エ 自動撮影カメラの設置後に、撮影範囲等の設定を確認しなければならない。

オ 自動撮影カメラの設置後に、試し撮りを行い、正常に撮影できることを確認しなければならない。

カ 自動撮影カメラは、根釧西部森林管理署より貸与する。

## 4 報告書

わな設置から捕獲及び搬出までの実施状況を報告書にまとめること。また、報告書には、捕獲事業で得た情報等を取りまとめ、次年度以降の事業実施に使用可能な手順を記すこととする。

ア 本捕獲事業の実施結果（準備から完了まで）

イ 囲いわなへのエゾシカの誘引状況

ウ その他必要事項

報告書は1部（A4サイズ、写真や図表についてはカラーにすること）及び電子データ（DVD-R等1枚）を提出すること。

（2）成果物に絶滅危惧種等の詳細な位置情報を表記する必要がある場合については、事前に監督職員と協議すること。

### （3）電子データの仕様

① Microsoft 社 Windows10 上で表示可能なものとする。

② 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。

（1）文書：ワープロソフト Microsoft 社 Word

（2）表計算：表計算ソフト Microsoft 社 Excel

（3）画像：J P E G型式

③ 成果品の格納媒体(DVD-R等)については、事業名称等を格納ケース及び媒体に必ず付記すること。

④ 文字ポイント等、統一的な事項に関しては監督職員の指示に従うこと。

なお、成果品納入後に、受託者側の責めによる不備が発見された場合には、無償で速やかに必要な措置を講ずること。

## 5 購入物品および物品管理について

事業明細書に記載されている購入物品については、受託者が調達するものとする。購入物品は、監督職員が同等品と認めた場合に限り変更できるものとする。

委託経費内で購入した物品について、繰り返し使用に耐えうるものについては、事業終了後、根釧西部森林管理署に返還するものとし、事業実施中は適切な管理を行うものとする。



また、貸与物品や調達物品について、返還時に損傷等の点検を自社又は第三者機関により行うこととする。

なお、損傷等により使用できなくなった場合には、契約書第 28 条第 7 項の規定によるものとする。

## 6 その他

特記仕様書及び共通仕様書に記載がないことについては、監督職員との協議により実施するものとし、協議内容を書面に記し提出するものとする。



# 厚岸地区エゾシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業(管理型捕獲) 位置図

● わな設置箇所





令和 7 年 度

事業名 厚岸地区エゾシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業(管理型捕獲)  
付託仕訳書

北海道森林管理局  
根釧西部森林管理署

## 事業費集計表

事業名 厚岸地区エゾシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業(管理型捕獲)

[illegible]

## 事業費積算構成表

No.	1					
工 種	種 別	単位	数 量	単価	金 額	備 考
直接事業費	誘引捕獲(大型 囲いわな)	式	1.00			
直接事業費計						
共通仮設費		式	1.00			
現場管理費等		式	1.00			
間接費計						
事業原価						
一般管理費		式	1.00			
その他の直接経費		式	1.00			
事業価格						
備考						

## 事業費明細表

[illegible]

## 事業費明細表

[illegible]

## 割 增 单 価 表

No. 1	囲いわな設置				作成単位	10.0m 当たり	
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者A	土木一般世話役	0.09	人			
	従事者B	特殊作業員	1.91	人			
	諸雑費		5.00	%			
計							
単 価 1.0m 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							



## 割 增 单 価 表

No. 2	囲いわな撤去					作成単位	10.0m 当たり
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者A	土木一般世話役	0.09	人			
	従事者B	特殊作業員	1.91	人			
	諸雑費		5.00	%			
計							
単 価 1.0m 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 割 增 单 価 表

No. 3	仕分け部足場部(設置・撤去)				作成単位	100掛㎡ 当たり	
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者A	土木一般世話人	1.75	人			
	従事者B	特殊作業員	6.49	人			
	従事者C	普通作業員	1.65	人			
	諸経費		32.00	%			
計							
単 価					1掛㎡ 当たり		
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 割 增 单 価 表

No. 4	自動捕獲装置設置・撤去					作成単位	10式 当たり
(構造) ロボット丸見えホカクン							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者B	特殊作業員	1.55	人			(設置)
	従事者C	普通作業員	1.55	人			(設置)
	諸雑费率		1.00	%			(設置)
	従事者B	特殊作業員	0.77	人			(撤去)
	従事者C	普通作業員	0.77	人			(撤去)
	諸雑费率		1.00	%			(撤去)
計							
単 価					1 式 当たり		
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

割 増 単 価 表

No. 5	見回り・給餌(囲いわな)					作成単位	1回 当たり
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者B	特殊作業員	0.52	人			
	従事者C	普通作業員	0.52	人			
	中小型トラック	ガソリンエンジン駆動／最大積載質量750kg	1.40	時間			
	諸雑費		1.00	%			
計							
単 価 1回 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

# 単 価 表

No. 6 遠隔捕獲作業		作成単位		1回 当たり			
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者B	特殊作業員	0.30	人			
	機械損料	パーソナルコンピュータ	1.00	日			
計							
単 価 1回 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

# 割 増 単 価 表

No. 7	追い込み・仕分け作業				作成単位	1回 当たり	
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者B	特殊作業員	0.65	人			
	諸雑費		1.00	%			
計							
単 価 1回 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 割 增 单 価 表

No. 8	構内除雪(人力)					作成単位	10.0m <sup>3</sup> 当たり
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者C	普通作業員	0.37	人			
	材料費		1.00	%			
計							
単 価 1.0m <sup>3</sup> 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

單 價 表

No. 9	運搬費(囲いわな資材)					作成単位	1回 当たり
(構造) 50林班(既設)～53林(新設)まで 7.25km							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	資材運搬費 10kmまで	小型車(4tクラス)	1.00	回			
	資材 積込・取卸費		1.00	回			
計							
単 価 1回 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							



## 割 增 单 価 表

No. 10	運搬費(仕分け足場部)					作成単位	1回 当たり
(構造) 上尾幌森林事務所倉庫～現場間(53、68林班) 3.8km							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	資材運搬費 10kmまで	小型車(2tクラス)	1.00	回			
	資材 積込・取卸費	倉庫～現場間	1.00	回			
計							
単 価 1回 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

單 價 表

No. 11	遠隔捕獲装置サーバー利用・通信費					作成単位	1ヵ月 当たり
(構造) ロボットまるみえホカクン							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	遠隔捕獲装置サーバー利用・通信費		1.0	月			
計							
単 価 1ヵ月 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

單 價 表

No. 12	誘引用餌(ルーサンペレット)					作成単位	1袋 当たり
(構造) (1袋40kg入り)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
12	ルーサンペレット	40kg	1.0	袋			
計							
単 価 1袋 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

單 價 表

No. 13	中小型トラック運転経費					作成単位	1時間 当たり
(構造) ガソリンエンジン駆動／最大積載質量750kg							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ガソリン	レギュラースタンド	2.8	ℓ			
	機械損料	中小型トラック750kg	1.0	時間			
計							
単 価 1時間 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 割 增 单 価 表

No. 14	自動撮影カメラ設置・撤去					作成単位	10.0台 当たり
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	従事者B	特殊作業員	0.31	人			(設置)
	従事者C	普通作業員	0.31	人			(設置)
	従事者B	特殊作業員	0.16	人			(撤去)
	従事者C	普通作業員	0.16	人			(撤去)
	諸雑費率		1.00	%			(設置・撤去)
計							
単 価 1.0台 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 割 増 単 価 表

No. 15	自動撮影カメラ見回り		作成単位	1.0回 当たり			
(構造)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	従事者B	特殊作業員	0.50	人			
	従事者C	普通作業員	0.50	人			
	ライトバン運転	二輪駆動/排気量1.5L	1.32	時間			
	諸雑費		1.00	%			
計							
単 価						1.0回 当たり	
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

單 價 表

No. 16	ライトバン運転経費					作成単位	1.0時間 当たり
(構造) 二輪駆動/排気量1.5L							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ガソリン		2.6	L			
	機械損料		1	時間			
計							
単 価 1.0台 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

單 價 表

No. 17	ホイールローダ運転経費					作成単位	1.0日 当たり
(構造) 山積1.3-1.4m <sup>3</sup> 級、排出ガス対策型(第2次基準値)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	特殊運転手		1.00	人工			
	軽油		45.00	L			
	ホイールローダ損料		1.55	共用日			
計							
単 価 1.0台 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							



單 價 表

No. 18	運搬路除雪					作成単位	1.0km 当たり
(構造) 2km未満、10cm以上30cm以下							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
14	ホイールローダ運転経費	山積13-14m級、排出ガス対策型(第2次基準値)	0.73	日			
計							
単 価 1.0km 当たり							
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 標準単価表

No. 20	運搬路除雪(2km未満、31cm以上60cm以下)				作成単位	1.0回 当たり	
(構造) ホイルローダ(山積み 1.3～1.4m3級)、排出ガス対策型(第2次基準値)							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
20	運搬路除雪	2km未満、10cm以上30cm以下	1.25	km			
計							
単 価						1.0回 当たり	
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考) 除雪回数:4回							

## 標準単価表

No. 22	工事区域内除雪(平面部)				作成単位	1,000㎡ 当たり	
(構造) 2,500㎡未満、5cm～60cm以下							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
22	ホイールローダ運転経費	山積1.3-1.4m級、排出ガス対策型(第2次基準値)	0.32	日			
計							
単 価						1.0㎡ 当たり	
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 標準単価表

No. 23	工事区域内除雪(平面部)					作成単位	1.0回 当たり
(構造) 2,500㎡未満、5cm～60cm以下							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
23	平面部除雪	山積1.3~1.4m級、排出ガス対策型(第2次基準値)	450.00	㎡			
計							
単 価						1.0回 当たり	
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

## 標準単価表

No. 24	機械運搬費(10t車クラス)					作成単位	1.0回 当たり
(構造) 20kmまで							
単価No.	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
24	大型車(10tクラス)	20kmまで	1.00	回			
計							
単 価						1.0回 当たり	
単価のうち労務費の金額							
単価のうち形成材料の金額							
(備考)							

# 貸与資材一覧

工種	名称	規格	単位	数量	摘要
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L1.5m t2.4mm	本	64.00	
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L2.5m t2.4mm	本	2.00	
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L3.0m t2.4mm	本	48.00	
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L4.0m t2.4mm	本	64.00	
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L5.5m t2.4mm	本	12.00	
大型囲いわな	自在クランプ	φ 48.6mm用	個	118.00	
大型囲いわな	直行クランプ	φ 48.6mm用	個	212.00	
大型囲いわな	垂木止めクランプ	φ 48.6mm用	個	200.00	
大型囲いわな	単管打込キャップ	φ 48.6mm用	個	52.00	
大型囲いわな	単管打込ミサイル	φ 48.6mm用	個	52.00	
大型囲いわな	型枠合板	塗装品12mm×900mm×1800mm	枚	176.00	
大型囲いわな	正割材	45mm×45mm×3650mm	本	86.00	
大型囲いわな	丁番	64mm×40mm×0.9mm	個	4.00	
大型囲いわな	丸落し	ユニクロメッキ150mm	個	4.00	
大型囲いわな	公団取手	ヘアーライン大120	個	4.00	
大型囲いわな	滑車	シャックル式	個	10.00	
大型囲いわな	滑車	クランプ式	個	10.00	
大型囲いわな	鋼より線	φ 6mm (落とし扉用)	m	90.00	
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L1.5m t2.4mm	本	26.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L3.0m t2.4mm	本	2.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L4.0m t2.4mm	本	8.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	単管パイプ	φ 48.6mm L5.5m t2.4mm	本	4.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	自在クランプ	φ 48.6mm用	個	20.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	直行クランプ	φ 48.6mm用	個	66.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	単管打込キャップ	φ 48.6mm用	個	8.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	単管打込ミサイル	φ 48.6mm用	個	8.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	階段枠	高1,725mm 幅450mm	個	2.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	鋼製布板	幅500mm 長さ1829mm	枚	12.00	仕分け部足場用
大型囲いわな	遠隔操作捕獲システム	ロボットまるみえホカクン	式	2.00	
大型囲いわな	自動撮影カメラ	ハイクカム SP108-J	台	6.00	

## 現場説明書(閲覧用)

事 業 名	厚岸地区エゾシカ誘引捕獲森林被害緊急対策事業(管理型捕獲)			
1. 法令等協議・届出について	北海道知事への鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等許可申請兼従事者証交付申請については、当署にて別途申請手続きを行う。 その他の協議等については、受委託者協議のうえ手続きを行うこととする。			
2. 入林手続きについて	不要			
3. 用地等の確保について	仮設建物敷指定      無 注)指定箇所以外及び指定がない場所で国有林を利用したい時は、監督職員へ協議する。			
4. 支障木の取扱いについて	支障となる立木が発生した場合には、監督職員へ報告すること。			
5. 山火事警防について	当署において定められている「国有林野山火事警防対策要綱」に基づき、万全の体制を講じること。			
6. 貸与資材の補償について	委託契約書(案)及び国有林野における鳥獣被害捕獲等事業の実施に係る共通仕様書のとおり。			
7. 施工方法等の指定について	閲覧時に示された付託仕訳書の機種・規格、材料の割増し等は、発注者が積算に用いたもので、受注者を拘束するものではない。			
8. 労務等単価について	本事業は令和7年3月1日労務単価を使用している。 刊行物単価等で使用している建設機械の賃料については、特に記載のない限り長期割引を行った単価である。			
9. 直接工事費の項目について	付託仕訳書のとおり。			
10. 共通仮設費 積上げ項目について	事業費明細書 その他の直接経費のとおり。			
11. その他特記事項				
12. 積算に用いた諸数値				
① 通勤拠点から現場までの距離	一般道:17.6km 林道:1.25km	⑥ 冬期補正(労務費)	補正有	
② 事業日数	376日	⑦ 時間的制約を受ける事業の補正(労務費)	補正無	
うち冬期日数	131日	⑧ 施工時期補正(冬期補正)	補正有	
③ 施工地域補正	該当無し	⑨ 週休2日に係る補正	対象外	
④ 一般管理費等(前払金支出割合による補正)	補正無	⑩ 刊行物単価(四半期)の採用月	令和8年1月	
⑤ 一般管理費等(契約保証に係る補正)	補正無	⑪ 刊行物単価(四半期)以外の刊行物単価の採用月	該当無	